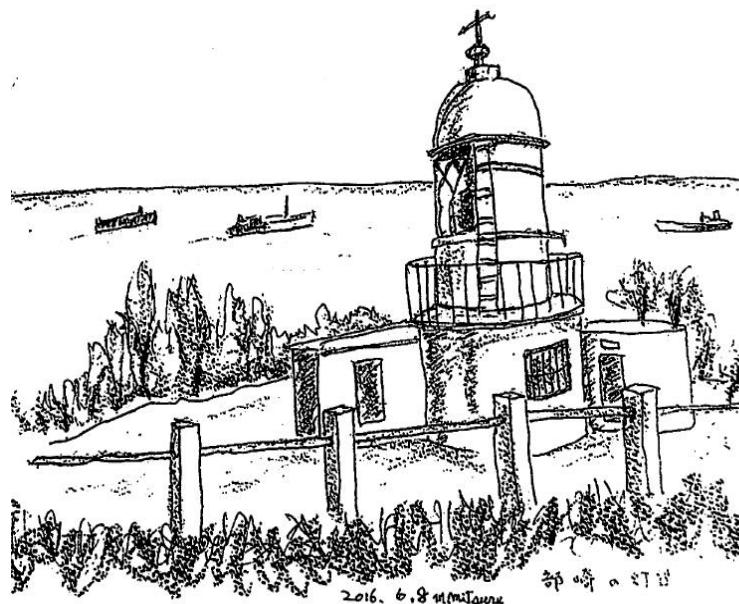


# 週報2021年8月8日



## 2021年教会標語聖句

見よ。わたしは新しい事をする。  
今、もうそれが起ころうとしている。

イザヤ書4章19節

シオン教会信仰指標：“イエス様と共に歩む”

日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団

北九州シオン教会

牧師：山崎銀次郎

<http://jesus.holy.jp/>

〒800-0038 北九州市門司区大里原町 6-10

TEL 093-381-4395(FAX…4396)

牧師携帯 090-6737-5276



## 礼拝順序 2021年8月8日

ピアノ 赤松真佐子 姉 オルガン 力丸勝子 師  
司会 吉武尚美 姉 メッセージ 山崎銀次郎 牧師

前奏

祈祷 開会の祈り

信仰告白 使徒信条・標語聖句唱和

賛美 新聖歌 137「聖なる聖なる」

祈祷 \*今日までのめぐみに感謝し、新たな献身を祈りましょう！\*

祈祷 献身の祈り

賛美 新聖歌 135「御靈は天より」

賛美 コーラス 21「主は今みことばをもって」

聖書朗読 マタイによる福音書6章5-8節

説教題 「隠れた所に入って祈る」

祈祷 御言葉の応答の祈り

頌栄 「主の祈り」

祈祷 祝福と派遣の祈り

後奏

### 交わりの三省

- \*互いに愛し合っていますか
- \*互いに赦し合っていますか
- \*互いに祈りあっていますか

# 説教要約

## マタイによる福音書6章5－8節 「隠れた所に入って祈る」

### ①人の報いと神の報い

マタイによる福音書6章1－18節はイエス様が施し、祈り、断食について教えています。この三つ(施し、祈り、断食)の行いは当時、律法学者、パリサイ人が“善い行い”として日々勵んでいました。イエス様はこの背景を踏まえ、弟子達に教えたかった事があります。「善行とは人前で善い行いに励むのではなく、隠れた所にいる神の義の為に励む」と言う事です。

今日の箇所はその中でも、祈りについて取り扱っています。当時のユダヤ人は1日2回(午前9時、午後3時)神殿で祈っていました。しかし、その中でも幾人かの人は、大通りや広場に出て行って大声で長々と祈っていました。そこで、イエス様は6章1節でこの話(厳密には3つの話)の要約を語っています。つまり、祈りとは人の賞賛を集める為にするのではなく、根本は神の報いを学ぶ一対一の交わりです。神の報いとは愛です。つまり無条件の愛によって成立した神との交わりをイエス様は勧めています。

祈りは信仰生活の基盤です。しかしその基盤とは“神とどのような交わりを続けているか”が大切です。つまりどれだけ祈っているか、何を祈っているかが大事なのではなく、誰と祈っているか、そして愛の関係を築く事が大事なのです。私達が祈っているのは、私達を愛してやまない天の父です。まずは“祈り”そのものを楽しんで参りましょう。

### ②隠れた所に入って祈る

今日の箇所及び、6章1－18節の大切な語句は「隠れた所で見ておられるあなたの父」です。それぞれの話でまとめのように3回この言葉が繰り返されています。(6:4)(6:6)(6:18)では隠れた所とは何処でしょうか？隠れた所とは誰もそこに集まらず、賞賛せず、見向きもしない場所です。そしてそこに神様がいます。神が望んでいる事は、自分自身の心の密室空間で神との一対一の交わりを継続する事です。

マタイ6章に入る前に有名な聖句「自分の敵を愛し、迫害する者のために

祈りなさい。」があります。(5:44)イエス様は人に敵意を向けられたとしても、愛し続ける事を教えています。そして今日の箇所の続きに主の祈りを教えます。(6:9～15)そしてこの祈りの結びは「赦し」についてです。つまり今日の箇所(正しい祈り)について一番大事な事は、密室の祈りとは人間の価値基準に従う祈りではなく、神の価値基準(愛と赦し)を求める祈りだと言う事です。イエス様は神の正しさを追い求め、だれも行きたがらない、賞賛されない十字架の道を歩まれました。

私達がお祈りを止める原因是報われないからです。労力や犠牲が報われない時、大通りの広場に出て行き、報いを得る為の祈りを始めます。そしてそれは行動にも出始めます。神はイエス様を通じてまず、私達に新しく、かつ正しい価値基準を示されました。それが永遠の愛です。“神の報い”に対する信頼は忍耐、継続、そして新しい愛と赦しを生み出す祈りへ変えられて行きます。(ローマ5:1～5)密室に入り、神の正しさを追い求めましょう。

### ③神の義を施す

今日取り上げた3つの善行には3つの方向性があります。つまり、施しは他者へ、祈りは神へ、そして断食は自分に向けて行います。この3つの行いは切っても切り離せない関係にあります。信仰生活とは祈りと行いと生き方を通じて、神の義に従う事です。イエス様は善い行いに対して厳しい言及をしています。しかしそれは弟子達が正しい報いを受ける為です。

今日は特にその中でも祈りが強調されました。人が最も耐えられない事は孤独です。つまり報いの無い人生を選ぶことが出来ません。イエス様だけが、究極的な孤独を体験されました。裏切られ、ののしられ、神の裁きを受けました。それは神と人が本当の赦しと平和を受ける為です。イエス様は私達の報いの為に祈られました。(ルカ23:34)

私達の生活は孤独との闘いです。しかし認められない事、理解されない事、裏切られる事、報われない事を一人で向き合う事は不可能です。私達はそのように創造されていません。孤独を一番よく理解して下さる人がいます。イエス様です。私達はイエス様に祈る事が赦されています。神の義に生きると言う事は神の愛に対する信頼を止めない事です。“赦す”事です。そのような祈りを捧げる人は、周囲に愛の施し、執り成しの祈り、自制の伴う愛を示すように変えられて行きます。正しい祈りを捧げるものへと変えられてまいりましょう。